

今日のトピック 自動車業界の2018年度4-6月期決算 連結営業利益は、トヨタとホンダは増益、日産は減益

4-6月期はアジア向けなどを中心に好調、通期は慎重な見通し

- 自動車大手3社の2018年度4-6月期の連結売上高と連結営業利益は、トヨタとホンダは増収増益、日産は減収減益となりました。トヨタは、タイなどアジアでの販売拡大と原価低減効果などから増収増益となりました。ホンダは、アジアやインドでの2輪車販売の好調などが牽引して増収増益となりました。
- 通期見通しについては、米トランプ政権が日本車に対して輸入関税を検討中のため、慎重な見通しとなっています。通商摩擦が解消に向かった場合、現在想定している対ドルでの為替レートは現状の水準より円高なため、上方修正が期待されます。
- トヨタグループの主要8社の4-6月期の連結決算は、アジア市場の好調や自動車の電動化などを背景に8社が増収、4社が営業増益となりました。

【自動車大手3社の連結業績】

企業名	売上高 (億円)		営業利益 (億円)		18年度為替想定 (円) (円/米ドル)
	18年4-6月期	19年3月期見通し	18年4-6月期	19年3月期見通し	
トヨタ自動車	73,627 (+4)	290,000 (▲1)	6,827 (+19)	23,000 (▲4)	106
ホンダ	40,241 (+8)	154,500 (+1)	2,994 (+11)	7,100 (▲15)	107
日産自動車	27,166 (▲2)	120,000 (+0)	1,091 (▲29)	5,400 (▲6)	105

【トヨタグループ各社の連結業績】

企業名	売上高 (億円)		営業利益 (億円)		18年度為替想定 (円) (円/米ドル)
	18年4-6月期	19年3月期見通し	18年4-6月期	19年3月期見通し	
デンソー	13,312 (+14)	54,000 (+6)	909 (▲2)	3,900 (▲5)	106
アイシン精機	10,079 (+10)	39,800 (+2)	649 (+21)	2,550 (+0)	105
豊田自動織機	5,221 (+17)	21,500 (+7)	339 (▲23)	1,350 (▲8)	105
豊田通商	16,501 (+5)	— (*)	565 (+15)	2,130 (+17)	105
ジェイテクト	3,764 (+12)	15,000 (+4)	193 (+20)	870 (+7)	105
トヨタ紡織	3,444 (+4)	14,000 (+0)	143 (▲12)	620 (▲13)	105
豊田合成	2,055 (+9)	8,100 (+0)	104 (+18)	440 (+25)	106
愛知製鋼	617 (+9)	2,508 (+6)	27 (▲32)	120 (+2)	112

(注1) カッコ内は前年同期比増減率、単位は%。トヨタ自動車は米国会計基準、ホンダ、デンソー、アイシン精機、豊田自動織機、豊田通商、豊田合成は国際会計基準。

(注2) (*) 豊田通商は売上高見通しは未公表。

(注3) トヨタ自動車の主要グループ8社は日本経済新聞社の分類による。為替想定は18年度の円/米ドル想定レート。

(出所) 各社決算資料データなどを基に三井住友アセットマネジメント作成

※個別銘柄に言及していますが、当該銘柄を推奨するものではありません。

**ここも
チェック!**

2018年7月20日 4-6月期決算が注目される日本株式市場
 2018年7月11日 4-6月期決算が注目される米国株式市場

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。